SPDの定数管理を、データで最適化する。

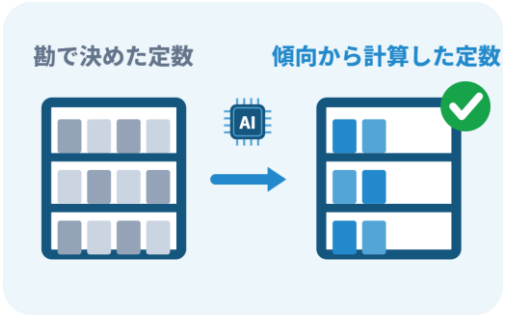
AI定数ガイドシステム「みはり」

DynaxT-Medical

株式会社DynaxT

院内物流（SPD）ご担当者さまへ

欠品させずに、ムダだけをなくす。



SPDの定数を、勘ではなく消費の傾向から自動で計算。

在庫の定数、見直せていますか？

定数は数千以上

人の手でひとつずつ
見直すのは不可能

古い基準のまま

気づかぬうちに
過剰在庫とコスト増

多すぎても少なすぎても

多ければ棚を圧迫
減らしすぎれば欠品

みはりの3つの価値

傾向から計算

“消費のクセ”をAIが解析し、
グループごとに一括算出

欠品させない

必要量は確保したうえで、
ムダな在庫だけを落とす

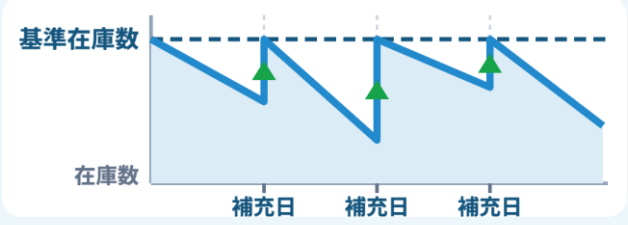
棚を有効活用

限られた保管スペースを、
本当に必要なものに

基準在庫数方式・発注点・補充点方式の両対応

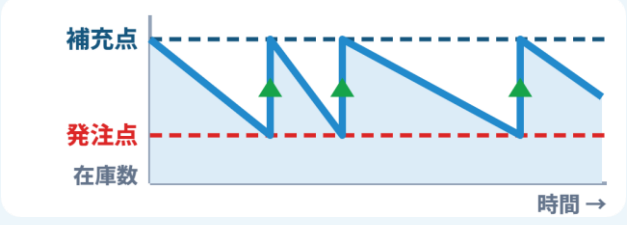
基準在庫数方式

使った分を、基準在庫数まで補充



発注点・補充点方式

発注点を下回ったら、補充点まで補充



常に置いておきたい個数も設定できます 医師の指示などで決まった数は、計算に関係なく固定

まずは30分のオンライン説明会から。

今の定数をデータで見直すイメージを、実際の画面でご説明します。

TEL 087-887-8881

medical-all@dynaxt.co.jp

https://dynaxt.co.jp

分析から現場への反映まで、ひとつの流れで

STEP 1
AIが分類
ワンクリック・約5分

▶

STEP 2
定数を再計算
どちらの方式でも一括

▶

STEP 3
欠品を検証
過去の払出実績で

▶

STEP 4
現場へ出力
依頼書をPDFで

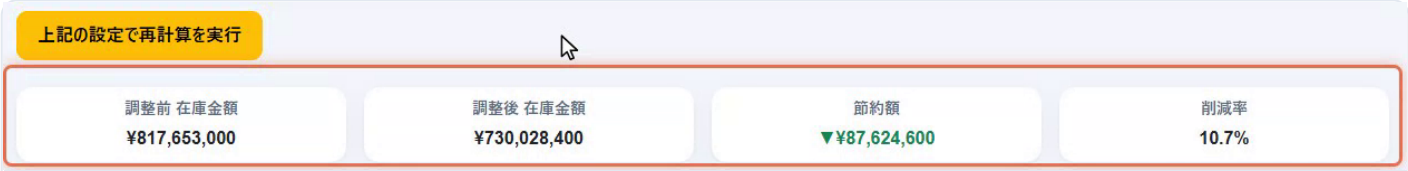
デモデータでの算出例 架空の病院（144品目・3部署）でシステムが算出した値です

約10.7%
在庫金額の削減
（必要量を確保したうえで）

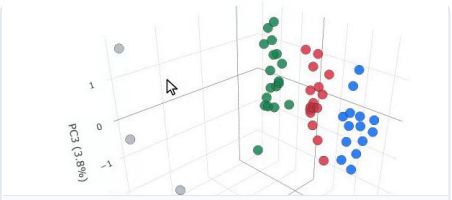
0件
在庫切れ
（141の組み合わせを検証）

ボタン1つ
部署あての依頼書と
全体サマリーをPDFで

実際の画面 画面はデモデータ（架空の病院・物品）です



定数再計算
調整前・調整後の在庫金額と削減率を、その場で表示。



AIが分類
消費のクセで物品をグループ分け。



在庫切れシミュレーション
欠品が起きないかを日ごとに検証。



依頼サマリー（A4）
会議・決裁にそのまま使える。

安心して使えるしくみ

削るのが目的ではない
目的はデータに基づく適正値

決まった数は守る
医師の指示などは
そのまま維持

根拠がひと目で
変更前後と金額を
一覧で確認

院内で完結
ネット接続なしで動く設計

※算出例は架空のデモデータによるものです。実際の効果は、病院の物流データ・運用により異なります。

株式会社DynaxT 新技術商品開発部 医療グループ
TEL 087-887-8881 medical-all@dynaxt.co.jp
https://dynaxt.co.jp